



創価大学

Discover your potential

自分力の発見



2017 SPRING vol.37

# SEASON



写真：中央図書館

ISSN 1349-3760

- 2 創価大学附属図書館長新年度挨拶
- 4 SOKA BOOK WAVE 今年度参加者受付中！ 7 図書館を使いこなそう！
- 6 国立国会図書館の  
「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を開始しました
- 12 図書館掲示板

有志団体であるS oka R e a d i n g P r o j e c t (S R P) が、ビブリオバトル（知的書評合戦）、読書会、読書展などを企画・運営しています。

こうした努力の積み重ねにより、朝日新聞出版が発表した『大学ランクイング2017年版』の中で、全国712大学の大学図書館ランクイングにおいて本学の図書館は19位にランクされています。このランクイングは、朝日新聞が実施したアンケート結果から、奉仕対象学生1人あたりの蔵書冊数、受け入れ図書冊数、貸出数（学生）、図書館費について、図書館の充実度を表すと数化したものです。したがつて、図書館の充実度を表すと

共に学生の読書に対する評価結果をも示しています。中でも一人当たり貸出冊数で本学は年間30・2冊となり第2位とランク付けされています。創立者池田先生がスピーチの中で読書の意義を教えてくださったことにより、本学には草創期から多くの先輩が読書に積極的に取り組んで来た伝統があります。ひとヶタ期のOBである私の友人が語っていました。「私は、創大在学中の4年間で本を1000冊読みました。これは誰にも負けていないでしよう」単純計算すると、この冊数は4年間、毎週5冊を読了したことになります。

ともあれ私どもは、こうした高評価に甘えることなく、皆様よりいたくご意見、ご

要望、他大学図書館の視察、海外の大学図書館情報などに基づき、来たるべき創立50周年へ向けてさらに改革を進めてまいる所存です。

創立者から2004年にいたいた図書館指針の中に、「読書は勝利者の源泉」とあります。小説『新・人間革命』第15巻「創価大学の章」の末尾には“創大生 生き抜け勝ち抜け この一生”と詠んでくださいました。創立者は、全創大生が、在学中も卒業後も、どのような困難に直面しても、負けじ魂で粘り強く勝ち抜き、人生の勝利者となつてもらいたいと願つておられます。また創立者は、随筆『読書は青春の宝』の中で語りかけられています。「良書に親しめば、それがそのまま心の



# 新年度挨拶

## 創価大学附属図書館長

前田 清隆



創立50周年を総仕上げする使命と希望に燃える47期生の皆さん、創価女子短大33期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新年度のスタートにあたり、在学生、教職員と共に私ども図書館スタッフ一同、決意を新たに図書館運営に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

本学には中央図書館の他に

理工学部フレイザー図書館、看護学部白樺図書館、そして法科学院図書室があります。さらに短大には香峯図書館もあり、中央図書館だけで100万冊を超える蔵書を持ち、将来の夢に向かう皆さんのが利用をお待ちしています。

私どもは、毎年行つている図書館利用者アンケートや皆さんからのご要望にお応えす

べく、改善に努めてまいりました。昨年度において中央図書館では①利用者の安全確保のため書庫に資料落下防止装置を設置、②定期試験の1週間前から試験最終日までの早朝7・30開館、③1階のラーニング・コモンズ（協同学習スペース）の事前予約、④夏季休業期間中の貸出冊数の上限を30冊に拡大、などであります。

本学図書館の取組みで際立つていることは、学生の皆さんに積極的に参画していただいていることがあげられます。過去12年間実施してきた全学読書運動（S oka B o o k W a v e）、数万冊に及ぶ図書贈呈会、紀伊國屋書店新宿本店で実施した学生による選書（購入）ツアーなどがあります。また、学生の

# 全学読書運動 SOKA BOOK WAVE 今年度参加者受付中！

文学は、人間の思想上の重大な位置を占めているのです。その影響力は、人間の生き方の深いところにまで及ぶ。だから、文学を読まず、思索をせず、ただ政治や経済や科学といった次元だけでは、人類は大変な損失を被ることになるでしょう。

～『青春対話』より～

## SBW とは？

Soka Book Wave (SBW) 創価大学全学読書運動とは、読書推進を目的とした運動のことです。創立者が提唱される「活字文化復興」の実現のため、学生の熱意から始まりました。

参加対象者は創価大学の学部生と別科生、留学生、創価女子短期大学の学生です。

## どんなことをしているの？

主な活動として感想文を提出し、読解力・文章力を向上させる取り組みがあります。

**感想文**：ウェブ上で本の感想文の受付を行い、読書を推進しています。提出した感想文等は、大学院生が確認し、間違った表現などがあれば、丁寧にアドバイスをします。そして、大学院生の確認・承認が終了すると、1件につき1ポイント（書評は2ポイント）が付与され、5ポイント毎に500円の図書カードを1枚進呈します。

**講座・イベント**：Soka Reading Project 主催の特別講演会、ビブリオバトルなど、本に触れるイベントを行なっています。イベント毎にポイントが付与されます。また、SPACe（総合学習支援センター）で行なわれる各種講座の一部もSBWと連動しており、ポイントが付与されます。

**展示など**：企画展示、創大祭での読書展などを行なっています。



## どんな本を読めばいいの？

エントリーする部門によって、読書対象図書が変わってきます。

**感想文**：図書館にある本、自宅にある本などどのような本でも結構です。ただし、以下のものは対象外となり、提出時に却下となります。

- ① 漫画 ② 辞典（事典） ③ 写真集 ④ パンフレット・小冊子（100頁未満） ⑤ 就職・資格試験等案内書 ⑥ 雑誌

**ショートレビュー**：読む本をあらかじめ指定しています。中央図書館2階「SBW 推薦図書コーナー」にある、「レビュー対象図書」の中から本を選び、ショートレビューを書いてください。

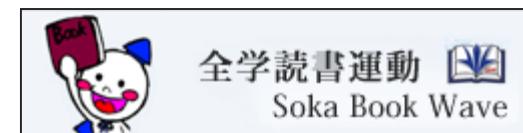
**書評**：読む本をあらかじめ指定しています。SBW 推薦図書コーナーにある、「書評対象図書」から選び、書評を書いてください。



中央図書館 2 階  
SBW 推薦図書コーナー

学生の皆さんの SBW への参加をお待ちしています。

参加希望の方は図書館 Web サイトにある『全学読書運動 Soka Book Wave』のコーナーからお申ください。



## Soka Reading Project とは？

SBW は学生有志と図書館職員で構成する Soka Reading Project (SRP) が企画・運営しています。広報活動や展示、各種イベントの開催など、「読書の波」を起こす活動を行なっています。SRP の参加メンバーも随時募集しています。SRP 室は中央図書館 2 階です。

SRP 活動ルーム入口



# 図書館を使いこなそう !!

## 開架と閉架って?

パソコンやスマホで本を検索し、請求記号を確認して、閲覧室の書棚を探しに行ったら本が無かった。という経験はありませんか?もしかしたら、その本は閉架書庫にある本かもしれません。

今回は、閉架書庫について説明をします。

図書が閲覧室にあることを「開架」といい、書庫にあることを「閉架」といいます。閉架書庫は、入庫資格を得るなど、一定の手続きを経ないと入ることができない場所となっているので、閉架の図書は閲覧室の書棚を探しても見つかりません。

### 検索結果画面

請求記号	資料状況	配架場所	ココに注目!	貸出情報	貸出依頼	宅配申請
910268 Mu 43	配架 2014/02/28	中央閉架書庫 [マップ] 閉架 紙	<b>書庫の本を持ってきてもらうときは、ココをクリック!</b>	ラベル番号:130307939 <input checked="" type="checkbox"/> 出庫依頼		<input type="checkbox"/> 宅配申請

閉架図書を利用したい場合は2種類の方法があります。

- ①蔵書検索システムから出庫依頼をして、図書館スタッフに書庫から本を出してもらう。
- ②書庫利用講習会を受講して、書庫に入る資格を得る(在籍中有効)。

①の「出庫依頼」は、蔵書検索システムで検索をしたときに出てくる「出庫依頼」のボタンをクリックして依頼をすることができます。

I: 出庫依頼ボタンをクリックすると、学籍番号とパスワードの入力画面になるのでそれぞれ入力してください。

II: 入力し終わって出庫依頼が完了したら、書庫利用カウンターで学生証を提示して「出庫依頼をした」旨を伝えてください。

III: スタッフが依頼された図書を持ってきます。

この方法で書庫内の図書は読めますが、出庫依頼をする際に本の内容を確認することができません。そのため、希望通りの内容の図書かどうかの判別が付きにくく、複数の図書を探したいときにも不便です。

また書庫内には閲覧室に配架されている図書の4倍以上の図書が所蔵されているので、閲覧室だけでは補えない情報や貴重な資料を見つけることができます。

そこで、書庫を閲覧室と同じように利用したいという方は、是非②の「書庫利用講習会」を受けてみてください。入庫資格を得ることにより、直接書庫内に入るので実際に資料を手にとって確認することができますし、思ってもみない発見があるかもしれません。



## 国立国会図書館の

## 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」 を開始しました。

(学内利用者限定サービスのおしらせ)

2017年4月1日より、中央図書館で「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」を開始しました。

「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」は、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手が困難な資料を、必要な手続きを経て認められた全国の公共図書館、大学図書館の館内で利用できるサービスです。

※雑誌について、商業出版によるものはこのサービスの対象外です。直接国立国会図書館で閲覧してください。

- 利用対象者: 学内利用者(学部生、大学院生、短大生、通教生、教職員)
- サービス期間: 中央図書館の開館から、閉館の1時間前まで。
- 利用方法

- 1: 中央図書館サービスカウンターにお申し出ください。
- 2: スタッフが閲覧用の専用パソコンにログインします。
- 3: お探しの資料を閲覧してください。利用時間は1時間以内です。
- 4: 複写を希望される方は「国立国会図書館デジタル化資料複写申込書」にご記入の上、サービスカウンターにお持ちください。

A4サイズ モノクロ1枚10円 カラー1枚50円です。

- 5: 受付日から数えて開館日の5日後以降に、中央図書館サービスカウンターにて複写物をお渡しします。お引渡しの際に複写代を徴収します。



中央図書館1階カウンターの向かい側に新設された「国立国会図書館デジタルライブラリー」コーナー

通常開館時間 8:30 ~ 21:00

## 開館日程

4月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

5月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

6月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

## 書庫利用講習会のお知らせ

今年度も、書庫の中に入って閉架図書を自由にご覧いただけるようになる書庫利用講習会が始まっています。充実したレポート、説得力のある論文を書くためには、適切な資料収集が欠かせません！一度講習を受けければ、資料の宝庫ともいえる中央図書館の書庫内に、在籍中は直接入って利用できるようになります。皆さん奮ってご参加ください！

5月 15日 (月)	17:00 – 18:00	6月 12日 (月)	17:00 – 18:00
5月 16日 (火)	17:00 – 18:00	6月 13日 (火)	17:00 – 18:00
5月 17日 (水)	17:00 – 18:00	6月 14日 (水)	17:00 – 18:00
5月 17日 (木)	17:00 – 18:00	6月 15日 (木)	17:00 – 18:00
5月 18日 (金)	17:00 – 18:00	6月 16日 (金)	17:00 – 18:00

書庫利用講習会への参加は、図書館WEBページの「各種講習会の申込受付」でエントリーしてください。



各種講習会の申込受付

Webサイトより申込み

また、5月8日～6月30日までの期間、毎週月・金曜日限定で、13:30からも書庫利用講習会を行ないます。こちらは予約不要です。上記の講習会の日程が合わない方、早く講習会を受けたい方などはこちらへご参加ください。